



18年度担当者会の様子
「この学年では
点字体験を入れよう…」



野原小学校にて手話体験
「“こんにちは”はこうだよ」

はが

共同プログラムを作成して・・・

福祉学習の取り組みを進めるために

今年度も四月十九日に「福祉学習」のための説明会を開催し、前述のプログラムをも

のことでした。
昨年開催した「波賀支部小中学校福祉学習担当者打ち合せ会」で、各学年の教科書を持ち寄り、いつ頃どのような福祉学習を取り入れるか等の、年間計画（プログラム）を立てました。学校の先生と社協職員が共同でプログラムをつくるのは、粟市内では初めてのことでした。

とに「福祉学習」を計画的に取り入れることになりました。視覚障がい者、聴覚障がい者のみなさんを講師として学校へ招くことの調整や、その他に社協が支援できることを説明しました。
今後は、社協の担当職員と小中学校の先生が、福祉学習の方法について気軽に相談しあえる関係を作ることが大切だということから、福祉学習担当者会を定期的に開くことになりました。

（波賀支部 坂本幸子）

よく目立つ黄色いたすきをかけたおじいちゃんおばあちゃんたち。
地域に住む子どもたちの安心・安全を確保するため、市内老人クラブ会員も防犯パトロールをされています。千種では「みまもりさん」として活躍されています。

ちくさ

地域の安心

「みまもりさん」

老人クラブ会員が防犯パトロール実施中



「もうそろそろ顔見知りになってくれたかな？」

何かあれば助けを求めてもらえるようになればと始められました。

「見守ってもらえるのは、うれしいし、安心できる。」

と笑顔の子どもたち。また、みまもりさんも、「子どもたちとのあいさつからコミュニケーションも増えた。今後もあるだけ続けたい。」とあたたかく見守っていただいています。

「子どもを健やかに育てる環境づくり」は、私たち大人の役割です。今後、地域全体で子どもたちを見守るという意識が広がればと思います。

（千種支部 山本めぐみ）



「ただいまぁ」「おかえり」